

平成6年度 和歌山県文化奨励賞

すぎのほら おんた まいほぞんかい 杉野原の御田の舞保存会

設立：昭和40年

会長：保田 貞明

所在地：和歌山県有田郡清水町

会員：杉野原地区 63戸

■主な表彰歴

昭和41年4月12日

和歌山県無形民俗文化財指定

昭和62年12月28日

国無形民俗文化財指定

◎業績及び経歴

“杉野原御田舞”は室町時代初期より始まった。

旧暦正月6日に、壇那寺^{うじく}雨錫寺に集合し、装束・道具を整えてお渡しする。そして、はじめに産土神河津神社へ参拝し、次いで境内阿弥陀堂で御田を演じるというものである。

保存会では、この歴史ある伝統行事の灯を後世に語り継ぐべく、現在も平成の偶数年、2月11日(建国記念の日)に古式の通りの行事を奉納されている。

このような保存会の地道な活動によって、郷土の文化財は保存され、継承されていくもので、地域文化財の保護育成に大きく貢献されている。